

絆 ぎずな

東日本大震災津波から6年の歩み



岩手県中学校長会総会において、吉田昌陽副会長（城東中）より、東日本大震災津波から6年が経過した今、この間の県中学校長会の取組を「東日本大震災津波から6年の歩み」と題して情報提供が行われた。

1 横軸連携スタート・記録集（第1・2集）発刊

発災から1年が経過した平成24年3月、県中学校長会では、大震災津波直後の状況や横軸連携、姉妹校連携の取組をまとめ、記録集「明日を見て 前を向いて」と題して編纂しました。また、3年が経過した平成26年3月に各学校や校長会の取組、生徒たちの活動の様子をまとめた第2集「未来への一歩を共に」を発刊しました。



2 全日中役員被災校訪問

これまでも全日本中学校長会からは、義援金をはじめ和太鼓の寄贈など、多大な支援をいただいています。平成28年7月、全日本中学校長会榎本会長と役員3名が来県し、沿岸南部の被災校3校を訪問しました。新校舎建設中の中、仮設校舎で学ぶ釜石東中学校生徒が感情豊かに真剣な表情で合唱を聞かせてくれました。



3 開校に向けて建設が進む新校舎

その後、平成28年秋の開校に向けて建設が進む大槌学園の工事現場並びに仮設校舎を訪問しました。発災から5年が経過し、仮設校舎も老朽化が進む厳

しい環境の中、授業等に頑張る生徒・教職員の様子を聞き、全日中役員の皆様から激励の言葉がありました。



4 現在も仮設住宅が立ち並ぶ中で

2日目には、現在も仮設住宅が立ち並ぶ陸前高田第一中学校を訪問しました。2日間を通して、県中学校長会から、被災校の現状や課題、要望等について、随時説明を行いました。全日中からは、風化させない主旨のお話をいただきました。



5 「復興教育の推進」

また、平成28年8月に大分市で開催された第16回全国中学校総合文化祭では本県代表として出演した大船渡市立吉浜中学校の生徒が、津波演劇「奇跡の集落・吉浜」を熱演し、他県からも高い評価をいただきました。



6 発災から6年が経過した「今」の学校の様子

釜石市立釜石東中学校と大槌町立大槌学園の「今」の様子が動画により紹介されました。

終わりに、時間の経過とともに被災各校の状況の多様化や意識の風化が懸念されています。県中学校長会では、これまでの取組で培われた横軸、そして姉妹校の精神を大事にしながら県内161校162人の会員が丸となって「学びの場」の復興に取り組む必要があります。今後も、皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

【ご冥福をお祈りいたします】

総会に先立ち、急逝された岩手大学教育学部附属中学校の長根義広副校長を追悼し、参会者全員で黙祷を行いました。